

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	地域活性化人材育成事業-SPARC-			担当部局庁	高等教育局	作成責任者				
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	令和9年度	担当課室	大学振興課	大学振興課長 古田 和之				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	・「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日閣議決定) ・「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」(令和3年6月18日閣議決定)					
主要政策・施策	子ども・若者育成支援、地方創生			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域の大学が知の中核拠点としての役割を最大限発揮していくためには、大学を地域ニーズに応える人材や地域発イノベーションを起こし続ける人材を育成するシステムとして構築する必要があり、地域のリソースを総結集した上で、地域社会と大学間の連携を通じて既存の教育プログラムを再構築することにより、地域が真に求める人材を育成する機関に転換することを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	産学官金が連携し、地域ニーズに応える人材や地域発イノベーションを起こし続ける人材を育成するため、 ・地域連携プラットフォームにおいて地域社会で求める人材像や地域課題を設定し、地域社会のリソースを総結集させた上で、 ・大学等連携推進法人を設立し、個別の大学の枠を超えた文理横断型の教育を基盤とした学位プログラムを構築し、 ・本事業の成果を元に学部の再編等を目指す取組等を支援する。 補助率:定額									
実施方法	補助									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	0	1,452	1,751			
	執行額	0	0	0						
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-	-	-	-			
	令和4・5年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
大学改革推進補助金		1,450	1,750	要求額のうち「重要政策推進枠」:600百万円 ※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
研究拠点形成等委員等旅費		0.7	0.3							
研究拠点形成等業務旅費		0.7	0.3							
研究拠点形成費等庁費		0.3	0.3							
計	1,452	1,751								
活動内容 (アクティビティ)	地域ニーズに応える人材や地域発イノベーションを起こし続ける人材を育成するため、国公立大学等を対象に、地域のリソースを総結集した上で、地域社会と大学間の連携を通じて既存の教育プログラムを再構築する取組を支援する。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	地域社会と大学間の連携を通じた既存の教育プログラムの再構築	プログラム実施件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/プログラム実施件数			単位当たりコスト	件/千円	-	-	-	156,544	
				計算式	執行額/プログラム実施件数	-	-	-	1,408,900/9	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標7年度	目標最終年度9年度	
	大学が育成する地域ニーズに応える人材や地域発イノベーションを起こし続ける人材の増加	本事業により開発した教育プログラムを履修した学生数	成果実績	人	-	-	-	-	-	
			目標値	人	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	文部科学省における事業実施状況調査 ※目標値は事業選定大学の事業計画を踏まえて決定 ※実績は実施状況調査の結果を踏まえ記載									

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	4 個性が輝く高等教育の振興	
	政策評価	施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上	政策評価書 URL https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_4-1.pdf
				該当箇所 施策目標4-1-1、4-1-2(達成目標1測定指標①～③)
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:			-	-
該当箇所			-	-
事業所管部局による点検・改善				
		項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日閣議決定)等で掲げられた政策を実現するものであり、社会ニーズを反映している。
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日閣議決定)等で掲げられた政策を実現するものであり、国が実施すべき事業である。
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日閣議決定)等で掲げられた政策を実現するものとして必要かつ適切な事業であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業は、公募した上で有識者からなる委員会による公平な審査を経て選定し、その妥当性や競争性を確保を予定している。
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業は、公募した上で有識者からなる委員会による公平な審査を経て選定を予定しており、国費の負担割合は妥当である。
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認することなどを予定しており、妥当なコスト水準化を確認する。
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認するなど、資金の流れを確認する予定である。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認することで、事業目的に即した真に必要なものに限定する。
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	有識者からなる委員会により選定された事業計画に基づく目標値を設定する予定であり、妥当である。実績値については、今後、調査の実施等により把握する。
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	国公立大学を通じた競争的環境の下、国として進めるべき改革を積極的に推進する大学の取組を選定・支援する予定であり、効果的な事業として実施する。
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	有識者からなる委員会により選定された事業計画に基づく活動見込みを設定する予定であり、妥当である。実績値については、今後、調査の実施等により、把握する。
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業における成果等については、HPや各種メディアへの掲載、選定校間の連携による成果発表会等を通じて活用の促進を図る。
関連事業		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
		事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	プログラムの着実な実施に向け、毎年度、各採択事業の進捗状況をフォローアップするほか、補助期間の4年目となる令和7年度には中間評価を実施する。また、申請時点において、各大学に事業の進捗状況を把握する仕組みの構築や、評価結果をその後の事業展開に反映させるようなPDCAサイクルの確立を求めており、効果的な事業の実施に努めている。		
	改善の方向性	事業の実績・成果をより効果的・効率的に活用するため、選定校間のネットワークを活用するなど、取組の加速や補助期間終了後の定着に努める。なお、事業期間終了後の令和10年度には事後評価を行い、各大学における取組の改善と定着、取組成果の他大学への普及に資することとしている。		

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の実施状況等を踏まえ、適切なアウトカムの設定について不断の見直しを図ること。
引き続き事業の着実な実施及び適切な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

事業の着実な実施及び適切な予算執行に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度	文部科学省			
令和3年度	2021 文科 新22 0012			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

(イメージ)

- ・職員旅費 : 0.7百万円
- ・委員等旅費 : 0.7百万円
- ・庁費 : 0.3百万円 を含む。

文部科学省
1452百万円

地域ニーズに応える人材や地域発イノベーションを起し続ける人材を育成するため、地域のリソースを総結集した上で、地域社会と大学間の連携を通じて既存の教育プログラムを再構築する取組を支援。

【補助金等交付】

A. 国立大学法人等
(全9機関)

地域ニーズに応える人材や地域発イノベーションを起し続ける人材を育成するため、地域連携プラットフォームや大学等連携推進法人を活用し、個別の大学の枠を超えた文理横断型の教育を基盤とした学位プログラムを構築・実施。

B. 審査・評価等実施機関
41百万円

地域活性化人材育成事業-SPARC-の審査・評価等の業務を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

